

砺波総合病院 から

小児科
福田 正基

市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

B型肝炎ウイルスの 予防接種

はじめに

B型肝炎ウイルス（HBV）に対する予防接種は、HBVの感染で起こるB型肝炎を予防します。B型肝炎は、慢性化するや肝硬変さらには肝臓へとつながることがある病気です。

その進行を止めるための薬にも特効薬といえるほどの効果のあるものはないため、ワクチンによる予防がとても重要です。

HBVの感染経路

HBVは血液や体液を介して感染します。

○出産時の感染（母子感染）

○行為による感染

○傷口からの他人の血液による感染

（HBVをもっている児にかみつかれた）

（ピアス・タトゥー施術時の消毒不足）
これらは原因が分かりやすい感染ですが、感染の経路が特にはつきりせず、いつの間にかHBVに感染することもあります。家族内にHBVに感染した人がいると、その危険性は高くなります。

HBVに感染すると

発熱、嘔気、倦怠感などを自覚する急性肝炎を起こすことがあります。稀に、急激にわるくなり命に関わる、劇症肝炎という病気になることもあります。一方で大部分の人、特に小児では感染しても何も症状が出ません。

しかし、感染した人の一部ではHBVがそのまま体内に残り（キャリア化し）、後々になって慢性肝炎を起こします。キャリア化は免疫が未熟な幼児ほど起こりやすく、新生児期に感染する母子感染では8割がキャリア化するといわれています。慢性肝炎もまた、多くは無症状なのですが、その状態が長期間続くと肝硬変、肝臓が発生しやすくなってしまうです。

HBVの予防接種

ワクチンを3回接種することで、十分な予防効果を得られるといわれています。ワクチンは生後2か月から接種可能で、いつまでに接種するという期限はありません。成人であっても接種は可能です。

家族内に感染・キャリア化した人がいる方や血液を扱う可能性がある職業の方には以前より接種が勧められていますが、不慮の事故等での感染を考えると、どなたでも接種を行っておくほうがよいと思われます。

一時はワクチンの供給不足のため、小児科学会からの勧告により予防接種を控えることとなりましたが、このたびワクチンの供給が再び安定し、一般の接種を再開することとなりました。

接種を希望される方はもちろん、接種をすべきか悩んでいて説明を聞きただけの方も、一度外来にご連絡ください。

接種を希望する方は小児科外来、内科外来に連絡してください。

〈ワクチン接種料金表〉

	6歳未満	6歳以上
B型肝炎 0.25 ml 【ビームゲン】	6,550 円	5,740 円
B型肝炎 0.50 ml 【ビームゲン】	6,840 円	6,030 円

※平成28年4月より、接種料が変更となる場合があります。

こどもの広場

児童センター・児童館

開館日 月～土曜日
出町児童センター 9時30分～17時30分
☎33-3890 月曜日は14時～17時30分
東山見児童館 13時～17時 ☎82-4099
青島児童館 13時～17時 ☎82-6470

雄神児童館 13時～17時
☎82-7350 開館日 土曜日のみ
種田児童館 13時～17時
☎82-5430 開館日 土曜日のみ

月間行事（出町）
12日（土） おやつ作り 要申込み 定員15名 参加費100円
25日（金） 魚津水族館へバスハイキング
定員30名 要申込み・参加費
22日（火）～26日（土） チャレンジ検定週間（出町）
月間行事（東山見・青島・種田・雄神）
・お楽しみ会 ・プラバン ・東山見保育所訪問（東山見のみ）